



# TRAVEL INFORMATION

## July 2018

M.O. TOURIST  
エムオーツーリスト

### 日本人が好む航空座席列、通路派が過半数

エクスぺディア・ジャパンは、日本を含む23か国で「フライト」に関する意識調査を行いました。それによると、機内で「通路側」の席を好む割合は日本が53%でトップ。特に50歳以上は61%が「通路派」と回答。通路以外に座った場合、香港やブラジルなどでは約6割が「寝ている人を起こして動いてもらう」と回答した一方で、日本人は23か国中で最低の24%が該当。最多回答は「寝ている人に背中を向けて乗り越える」(38%)だったほか、2割は「その人が動くまで待つ」と回答。また、「友人・恋人・家族と隣同士になれるように隣の乗客に交渉をした」経験者が6%と最も少ないのも特徴的。この結果から、日本人は誰にも迷惑をかけずに機内を過ごしたいと考える傾向が強いようです。



### JL 成田-マニラ線 プレエコ新設

日本航空(JL)は7月1日より成田-マニラ線にJAL SKY SUITE787(SS9 II)を導入し、プレミアムエコノミークラスを新設。ゆとりの居住空間を確保した座席「SKY PREMIUM」でより快適なご出張・ご旅行をサポート。心と体に、やすらぎと癒しを生む憩いの時間をご堪能ください。プレエコご利用のお客さまはサクララウンジをご利用いただけます。



プレミアムエコノミー座席



サクララウンジ(第2ターミナル)

### NH 羽田-バンコク線 増便

全日空(NH)は6月1日より、羽田発着のバンコク線を1往復増便し、東京(羽田・成田)から毎日5往復の運航となりました。往路はビジネスでの需要の高い羽田深夜発を増便して毎日2便体制。復路はバンコクを午後発・羽田夜着のこれまでNHにはなかった時間帯での増便となり、今まで以上に出張スケジュールに合わせたフライトの選択が可能になりました。

全便B787による運航

便名	出発地・時刻	到着時刻
NH849	羽田 00:05	04:35
NH877	羽田 00:55	05:25
NH847	羽田 11:05	15:40
NH807	成田 17:00	21:40
NH805	成田 18:25	23:10
便名	出発時刻	到着時刻・着地
NH808	00:30	08:40 成田
NH806	06:50	15:00 成田
NH848	09:35	17:55 羽田
NH878	13:55	22:15 羽田
NH850	21:45	05:55+1 羽田

羽田空港国際線ターミナルにおいて6月1日よりANA SUITE LOUNGE(114番ゲート付近)の深夜営業を開始しました。110番ゲート付近のラウンジが混雑している際は、こちらを是非ご利用ください。114番ゲート付近のラウンジは、110番ゲート付近ラウンジに比べ空いており、シャワールームも完備しているため、ゆっくりくつろぎたい方には最適なラウンジです。



### ET 成田-アディスアベバ線 週4便へ増便

エチオピア航空(ET)は6月3日より成田-アディスアベバのフライトを週4便へ増便しました。経由地が香港→仁川になったことで飛行時間が短縮され、アフリカが更に近く便利になりました。(※ETはスターアライアンス加盟航空会社) 出発24時間前よりWEBチェックインが可能。ビジネスクラス利用者は、お帰りハイヤーサービスが利用可能です。

便名	出発	到着	運航日
ET673	成田 21:25	アディスアベバ 07:10+1	月・水・金・日
ET672	アディスアベバ 23:35	成田 20:25+1	火・木・土・日

※仁川到着後、韓国政府の要請により一旦降機いただき、保安検査を経てから同じ飛行機に再度ご搭乗となります。



### SQ 中部線でB787を導入 機内食にうなぎ

シンガポール航空(SQ)は7月28日から、中部線にB787-10型機を導入します。座席はフルフラットのビジネスクラス36席、エコノミークラスが301席。中部就航を記念して、中部/シンガポール線の全クラスでうなぎを使用した記念メニューを提供。ビジネスクラスでは、京都の老舗料亭「菊乃井」の村田吉弘氏が監修する機内食「花恋暦」とあわせて、7月と8月はうなぎ、9月は「みかわ牛」を使用したメニューを用意。エコノミークラスでは7月~9月末までうなぎを使用した機内食を選べます。

便名	出発	到着
SQ671	中部発 10:30	シンガポール着 16:20
SQ672	シンガポール発 01:20	中部着 09:05

## CFO・経理部門のご担当者様へ

世界で支持される出張・経費管理クラウド“コンカー”の導入をビジネストラベルのプロフェッショナルとして、エムオーツーリストが力強くご支援します。

Concur Travel & Expense はフォーチュン500企業の61%が利用する出張・経費管理クラウドのデファクトスタンダード。全世界の経費処理金額は5兆円を超えます。出張・経費管理プロセス全体をクラウド技術により一元管理し、様々なサービス事業者と連携することで出張・経費管理の自動化を実現します。

### 経費精算業務の省力化

### ガバナンス強化と間接費の見直し

### モバイルを活用した承認フロー

### Concur 導入による省力化効果

70%

削減

経理部門

60%

削減

管理者

50%

削減

従業員

(※コンカー調べ)

Concur Travel を組み合わせるとチケットを予約するだけで申請・承認・旅程管理が自動化されます

Concur Travel は、場所や時間を選ばず出張予約からスケジュール管理、経費精算までをスムーズにするクラウドサービスです。PCから出張の申請、航空券、ホテルの予約までをワンストップで行うことができます。しかも企業の出張規程に沿った手配が可能となり、ガバナンスの向上、出張経費の可視化ができます。

#### 従業員の悩み

- 出張に必要な予約・購入手続きの工程が多く**効率が悪い**
- 出張先の為替レートを**その都度**調べて**経費精算**するのが**手間**
- 出張が多いため**経費申請**する時間がなく、上長の**承認**も**時間がかかる**

#### 経理・購買担当者の悩み

- **社員によって**利用する航空会社やホテルが**バラバラ**で出張規程の徹底が難しい
- 航空会社やホテルを**集約して**、**購買力**を高めたい
- 出張**経費の申請**が一時に、かつ**月末に集中**してしまう

## Concur Travelで出張管理から経費精算までを統合管理

お問い合わせ先：B T M営業推進部 T E L : 0 3 - 3 4 3 2 - 7 2 5 1

